

看護学科ディプロマ・ポリシーと人間力の関係

[看護学科ディプロマ・ポリシー]

自らを律し、主体的に行動する能力

看護専門職として、自身の言動に責任をもって行動し、目的達成に向けて主体的に学習することができる。

生命を大切にし、人々の権利を尊重する態度

看護専門職として、人の生命を尊重し、看護の対象の最善の利益を追求する姿勢で実践に臨むことができる。

目的を達成するために他者と連携・協働する能力

多様な文化や社会を理解し、他者と連携・協働して物事に取り組むことができる。

人々との関係性を構築する能力

看護の対象となる人々、協働する様々な職種の人々と良好な関係を築き、発展させるためのコミュニケーションスキルを有している。

問題・課題を発見し、解決する能力

看護に必要な情報を収集・分析して問題・課題を発見し、改善・解決するための計画を立案し実践できる。

修得した知識・技術を活用し、実践する能力

看護専門職として、看護学及び関連分野の知識とそれに基づく技術を身につけ、実践に活用できる。

看護を探求し、保健・医療・福祉の発展に寄与する能力

人々のより良い健康のために看護の在り方を探求し、保健・医療・福祉の発展と地域社会に貢献することができる。

[人間力]

高潔な精神

豊かな感性

他者との共存

確かな知力

